

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／中島順三
《編集》 倉掛自治連合会
倉掛少年団育成部
倉掛少年団分団第5
消防井原分団

片岡一美さん逝く

井原町内最高齢99歳

倉掛十四組

井原町内で最高齢者だった倉掛十四組の片岡一美さんが四月三十日午前十時前、長男正年さんら家族に見取られなくなった。

片岡さんは1900年十月二十六日生まれ、満九十九歳。半年後には百歳を迎え、明年は十九、二十一世紀にその生涯が及ぶことか

ら、自治連合会でも祝賀行事を検討する矢先だった。例年九月に開かれている井原町敬老会には、婦人会役員の世話で元気に出席。「一緒に写真に納まって」と、周りからの「注文」に笑顔で応じていた。



長男の正年さんは「地域の皆様方にはお心遣いを頂き、本当に有り難うございました」と話している。五月二日午後一時からの

告別式には、倉掛地区民をはじめ多くの人が参列して別れを惜しんだ。

事業所自治会費 集金始まる

自治連合会

事業主が倉掛に居住していない商店や事務所などへ

御神体を深夜移転

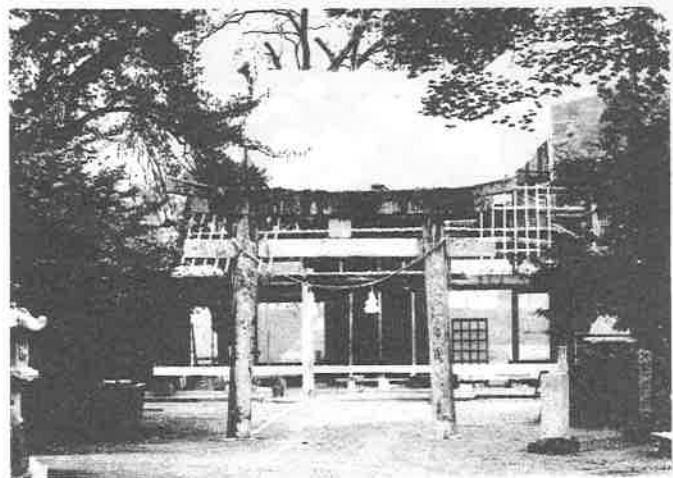
郷社の本殿及び拝殿の修復工事が進んでいる。四月十日深夜、古式にのっとり御神体を移す遷座祭が、続いて十五日に起工祭が執り行われた。

工事は瓦の取り除きから始まったが、シタキホームサービス(株)の村上孝三部長によると「傷み具合は予想以上」。拝殿は東側への傾きが見られるなど、当初予

定以外の手間も生じているという。梁や束などを交換した本殿は現在、屋根全体をシートで覆い瓦下地工事の真っ最中。創瓦の笹原さんは、「伝統的な本葺き屋根のため、工期も一般屋根の五倍必要」と説明している。郷社の大久保格総代は、すべての工事を九月中に終了したいとしている。

本葺き屋根 工期は五倍

郷社修復工事進む



現在の郷社の様子 五月二十六日撮影

完工は9月頃の予定



石灯籠を献納

郷社の玉垣工事を行った石材業井上昌次郎さん博司さん親子が、このほど境内へ石灯籠2基を献納した。

- 倉掛地区の
こども110番
- ブティック トヨイケ
 - 今岡写真館
 - 藤井接骨院
 - ブティック ノン
 - 浜田商店
 - 橋本冷菓
 - 丸山サイクル
 - (株)カタオカ
 - ピトレかわかみ
 - 日の丸旅行
- (順不同)

正しいゴミ分別学ぼう

6月15日 市の出前講座を自治連合会要請

四月より容器包装リサイクル法に伴う措置が井原市でも実施され、約二ヵ月が経過した。住民の間ではほぼ指定どおりゴミ出しが行われているが、三つに分けて指定日に出す必要がある

資源ゴミは「勘違いしやすい」などの声もある。このほど倉掛自治連合会は、家庭ゴミの正しい出し方を今一度確認して貰おうと、市環境課に出前講座を要請。六月十五日(木)午後七時より、井原市民会館鏡獅子の間で開講することになった。

自治連合会の瀬川環境衛生部長は「分別不明の物を実際に持参頂くなどして、この機会に疑問点の解消を図って欲しい」と、多くの受講を呼びかけている。

連合会が事業所自治会費の集金に回っている。個人世帯の様に回覧ルートを持たない事業所などへ危険を感じたら「こども110番」

倉掛地区 商店など十軒が協力

犯罪から子供達を守るべく、警察や学校、地域住民が連携して「こども110番」と呼ばれる防犯ネットワークが設けられる。これは近年、誘拐など凶悪事件が多発している事への対応策の一つで、子供らが身に危険を感じた時などに助けを求める「かけ込み寺」的な窓口。万一の際は子供を保護し、直ちに警察へ通報する仕組みだ。依頼先を検討していた倉掛自治連合会は、通学路や公園近くで目立ちやすく、大人が常駐している可能性の高い商店などへ協力を要請、理解を得た。

「こども110番」の表示板は子供たちが夏休みに入る七月頃に取り付けられる。窓口となる倉掛地区内の十軒は次のとおり。

倉掛ソフト絶好調

リーグ戦で中町にリードを許すも、猛攻撃で逆転した倉掛=打者は攻守に活躍した西山津好選手



リーグ戦は一勝一分け

五月二十一日から始まったリーグ戦の初戦で倉掛は中町に14対13で逆転勝ち。続いての本町戦を引き分けた。

地区対抗戦優勝

四月十六日に行われた井原公民館主催第三十七回井原地区ソフトボール大会で倉掛チームが優勝した。倉掛は第一試合で中町に12対6、第二試合も向町に17対10で勝利。夏目との決勝は、初回の4点を守り抜き栄冠を手にした。倉掛チームの頑張りの中でもひと際目立ったのが新鋭大坪良輔選手だ。打てばホームラン、守備ではバックホーム好返球でタッチアウトの大活躍を見せた。

若手の活躍光る

▽決勝	
倉掛	4 0 0 0 0 0 0
夏目	1 0 1 0 1 0 0
◇	
倉掛	1 0 1 0 1 0 0
◇	
夏目	3 4

「集め始めて三十五年ぐらい。形・色・紋様など、自然石は奥深さがあって面白い」と、自宅に飾られた数々の石に目をやり語るのは、縫製業を営む倉掛十七組の山岡正道さん。十六年間務めた井原玩石会の会長を今年三月に引退した。珍しい石探しのため、愛用のピッケルを片手に方々の川や海へ出向く。近くは高梁川・芦田川、遠くは室戸・四万十川：etc. 先日も山陽愛石会（岡山市）の誘いで井原の会員五人と鳥

思い出の一枚

取県若桜町へ。『とにかくなあ、谷へたどり着くまでが大仕事。その割には収穫が無かった』と笑う。木彫りの台に鎮座している約二百個の石からは、時間を費やして、発見した際の喜びや、趣味を通しての交流が伝わってくる。この写真は、昭和五十三年井原市文化祭の井原玩石会出展コーナーへ、故藤井勝志代議士が訪れた時のもの。右が山岡正道さん、左端は家具販売業・故松井静夫さん。

珍しい石を集めて35年

倉掛17組 山岡 正道さん(78)



この流れに乗って五月から始まるリーグ戦、秋の第三十八回地区対抗戦も団結

・パワー・粘りをもって倉掛チームの力を発揮したい。(川相益一)



「結構キツイですよ」と、小田川土手で草刈りの奉仕作業に汗を流す育成会のお父さんたち

少年団育 & 倉掛

草刈りも大変

本年度二回目の奉仕作業

五月十四日、倉掛少年団（山岡貴之団長三十三名）と同育成会（西山津好会長二十四名）が、四月の郷社清掃に続いて本年度二回目

の奉仕作業を行った。

この日は作業をするにはもってこいの曇り空。倉掛公園と井原大橋周辺の清掃を団員とお母さん、難しい小田川土手の草刈りをお父さんがそれぞれ担当し、午前八時半から一斉に開始。土手の斜面にそって慣れた手つきで草刈り機を操

夏目の柳本さん優勝

倉夏ゴルフ同好会

倉夏ゴルフ同好会主催の第三回コンペが四月十六日、井原ゴルフ倶楽部で開かれ十三人が参加した。鮮やかなグリーンに向か

って繰り出されるナイスショットには歓声、珍プレーには笑いと、参加者は終日楽しく過ごした。結果、手堅くプレーした夏目の柳本忠男さんが初優勝を飾り、2位には倉掛の

第3回倉夏ゴルフコンペ上位スコア

氏名	地区	G	H	N
① 柳本忠男	(夏目)	96	24.0	72.0
② 妹尾純志	(倉掛)	96	22.8	73.2
③ 丸山治人	(倉掛)	78	3.6	74.4
④ 大月忠幸	(夏目)	86	10.8	75.2
⑤ 井上勝史	(倉掛)	95	18.0	77.0
⑥ 今井忠秋	(倉掛)	94	16.8	77.2

るお父さんたちは時折、額の汗を拭いながら大正橋から井原大橋の下まで、約400mの区間を三時間余りで刈り終えた。

妹尾純志さんが入った。今後は五月第三日曜日と、十一月第三日曜日の年二回開かれる予定。

倉掛ほっと情報

- 4月28日、倉掛10組内に設置されている飲料水の自動販売機から変造500円硬貨が発見され警察へ届けた。この頃、井原市内の数カ所で変造硬貨が見つかった。
- 5月1日、西江原小学校の児童が遠足で倉掛公園を訪れるとの情報を得た倉掛少年団育成会は急遽、有志による清掃を実施。後日、同校の三宅校長から「子供たちの為にお骨折りを頂き有り難うございました」と、丁寧なお礼の言葉が寄せられ恐縮している。
- 郷社境内の滑り台が一部壊れているため、「使用禁止・こわれています」と3カ所へ注意を呼びかける表示板を取り付けた。ところが数日後にはそれも壊れていた。「……」
- 6月11日の少年団廃品回収が近づいている。育成会では地区内の各世帯にPRを徹底しようと、戸別チラシを回覧ルートで配付中だ。「効果を期待しています」と育成会役員。

- ◆ 行事予定 ◆
- 6/4 土のう回収(自治連合会) 午前8時30分～ ※ 消火器薬液入替え
- 6/11 倉掛少年団廃品回収 8:30～
- 6/15 正しいゴミ出しの出前講座 (午後7時00分～市民会館)
- 6/17 防犯パトロール
- 7/2 少年団学区球技大会
- 7/8 資源の日・古紙収集 午前7時30分～9時
- 7/15 防犯パトロール
- 7/20 ラジオ体操(8/6まで)
- 7/22～23 倉掛少年団キャンプ (広島県立ふれあいの森)
- 8/1 町民体育祭実行委員会
- 8/6 倉掛少年団公園草刈り
- 8/13 井原町盆踊り大会(井原小)
- 8/19 防犯パトロール
- 8/20 井原小学校PTA奉仕作業
- 9/10 井原町敬老会 (井原小)